

#### 4 加工食品の温度帯別流通状況

加工食品の流通温度帯を販売額割合で見ると、食品製造業では常温が69.3%、冷蔵が20.9%、冷凍が9.8%となっている。(図14)

また、食品卸売業では、常温による流通が73.9%、冷蔵が14.8%、冷凍が11.3%となっている。(図15)

なお、その製品特性により様々な温度帯で流通しており、食品製造業の場合、惣菜・弁当等の調理食品は常温流通による販売額の割合が高いものの、ハム等の畜産加工品等は、品質保持の関係から、冷蔵流通による割合が高くなっている。(図16)

図14 加工食品の温度帯別販売額割合  
(食品製造業)

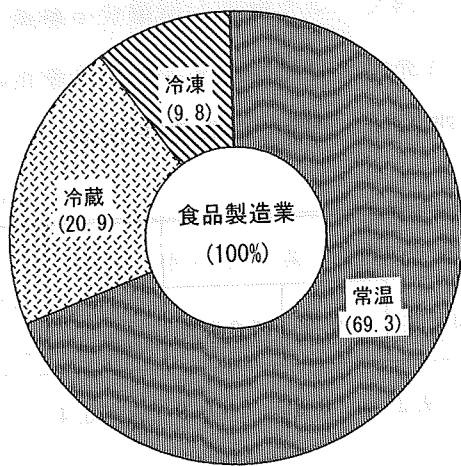


図15 加工食品の温度帯別販売額割合  
(食品卸売業)

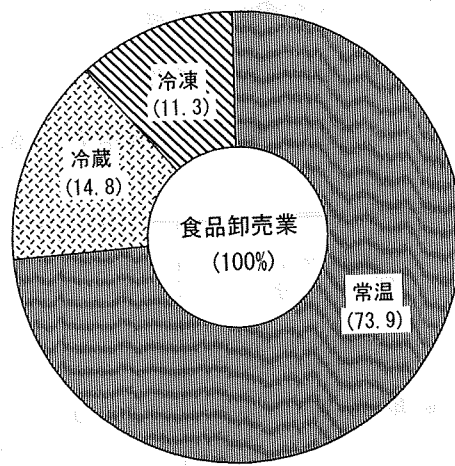
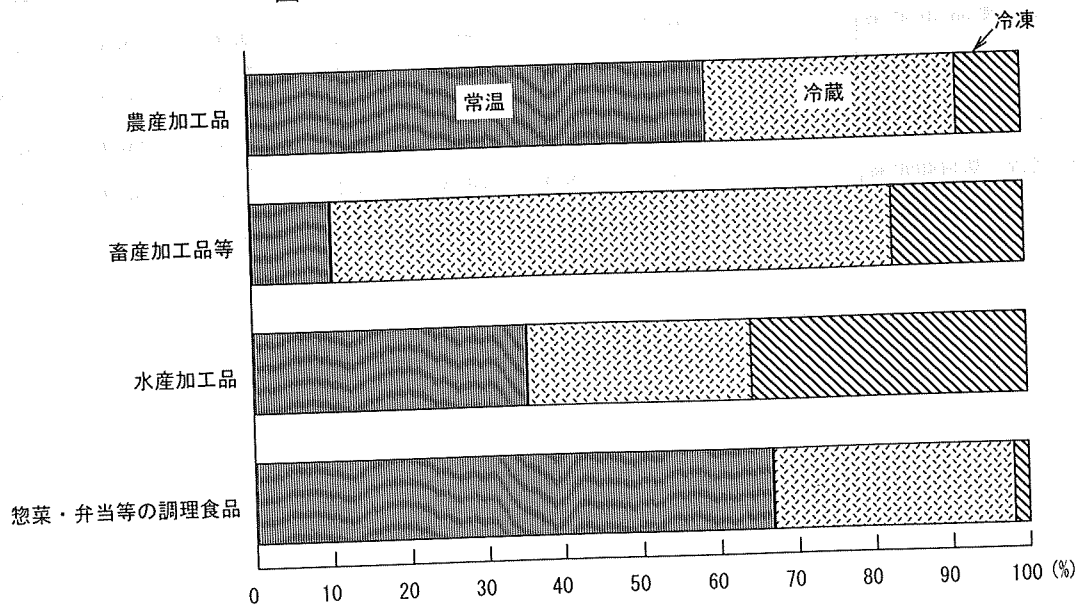


図16 主要品目の温度帯別販売額割合 (食品製造業)



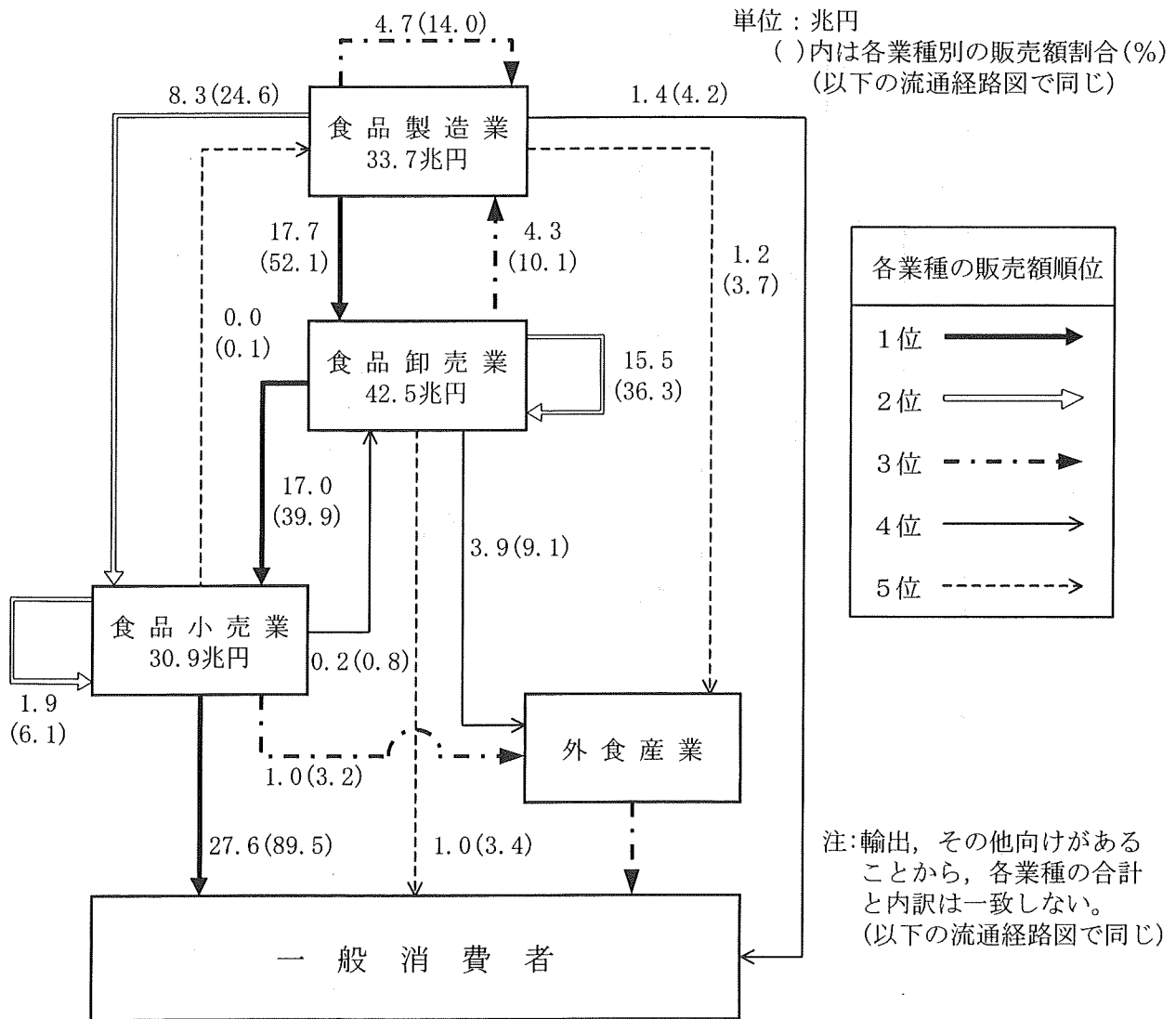
5 加工食品の流通経路・規模

(1) 平成8年の我が国の加工食品の販売額は、食品製造業が33.7兆円、食品卸売業が42.5兆円、食品小売業が30.9兆円であった。

この販売先は、食品製造業から食品卸売業へ52.1%、食品卸売業から食品小売業へ39.9%が販売されている。

また、食品製造業から他の食品製造業への販売などの同業種内循環分は、食品製造業では14.0%、食品卸売業では36.3%、食品小売業では6.1%となっている。(図17)

図17 加工食品の流通経路・規模



(2) 加工食品の品目別の流れをみると、①製造業から卸売業、小売業と順を追って販売されるもの、②そのうち複数の卸売業を循環するもの、③製造されそのまま小売業へ直接販売されるもの、④主に製造原料として使用されるもの、⑤特定温度帯で流通されているもの等多様な流通経路がみられる。これらの流通経路をその代表的な品目でみると以下のとおりである。(図18～図24)

図18 ①製造業から卸売業、小売業と順を追って販売される割合が高い食品（めん類）

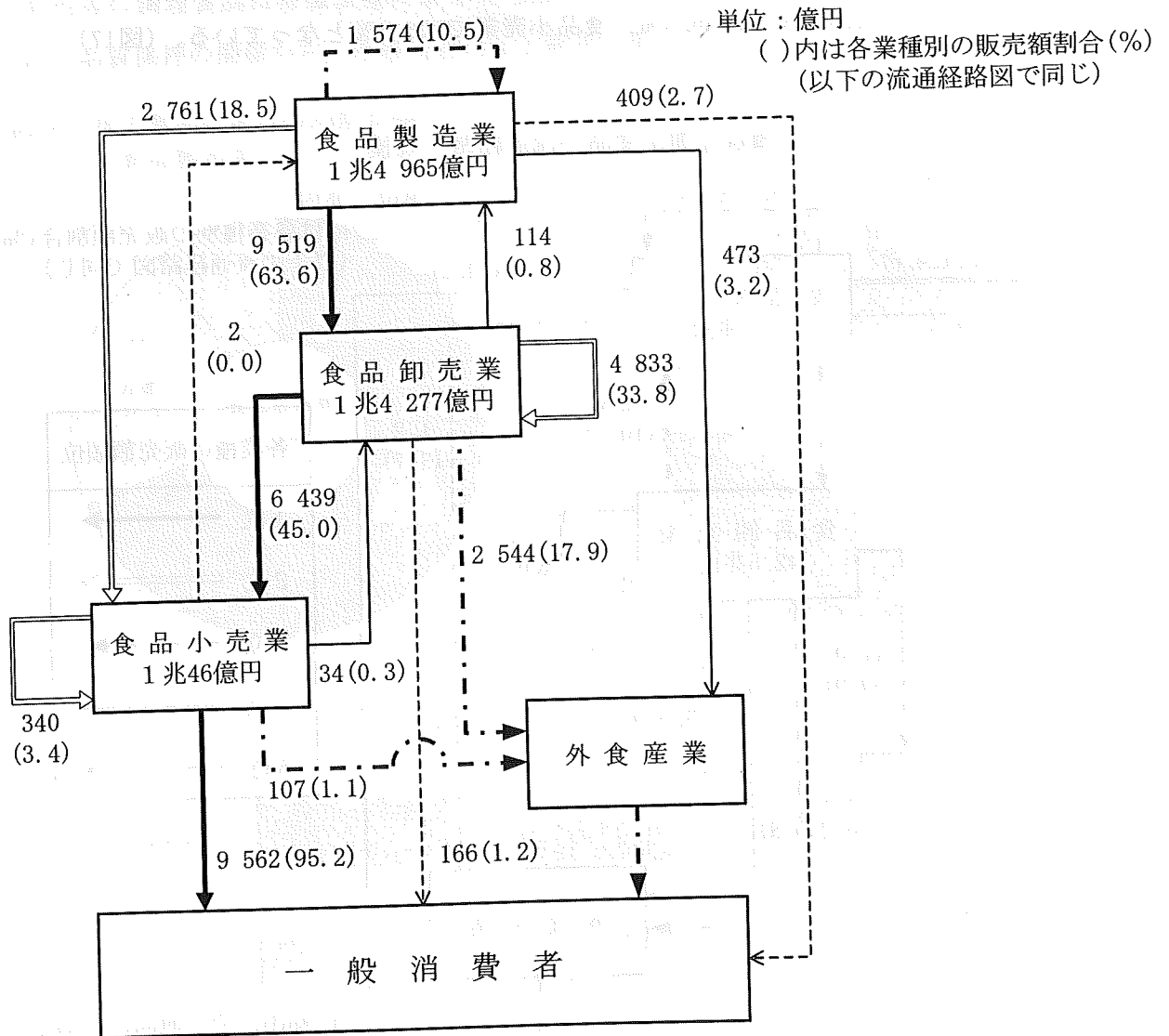


図19 ②複数の食品卸売業を循環する割合が高い食品（菓子類）

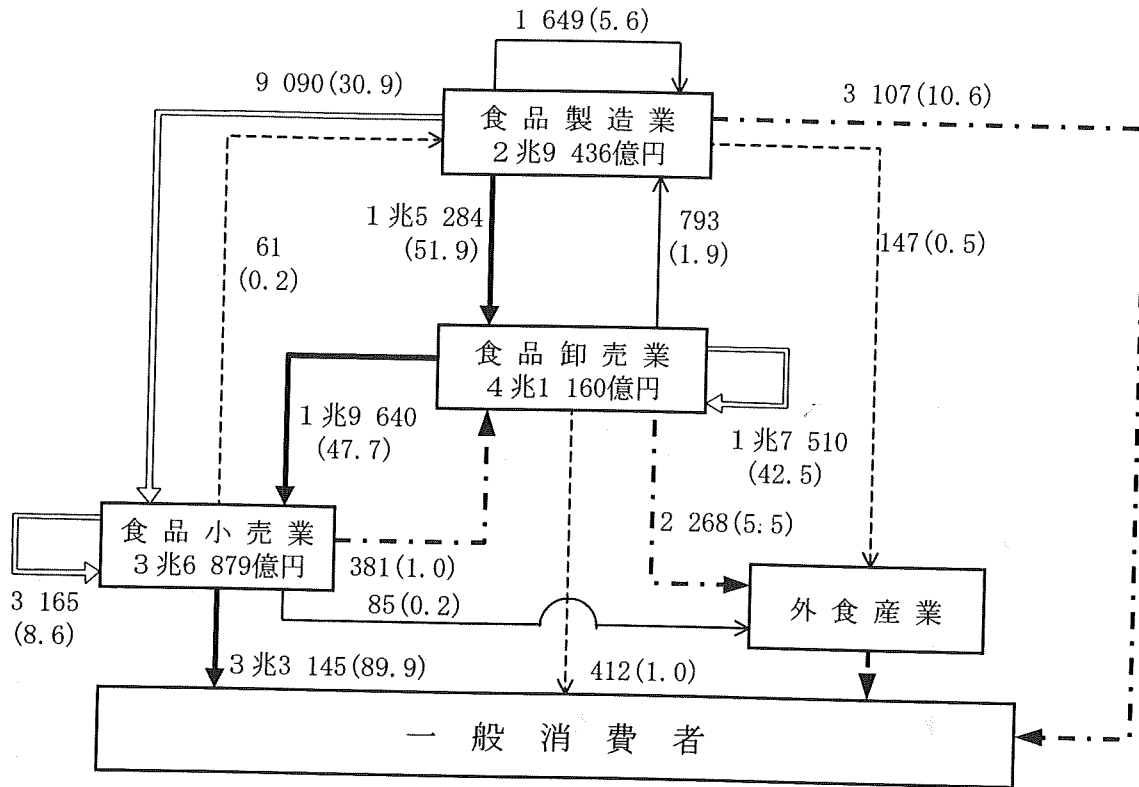


図20 ③-1 食品製造業から食品小売業に直接販売される割合が高い食品（パン類）

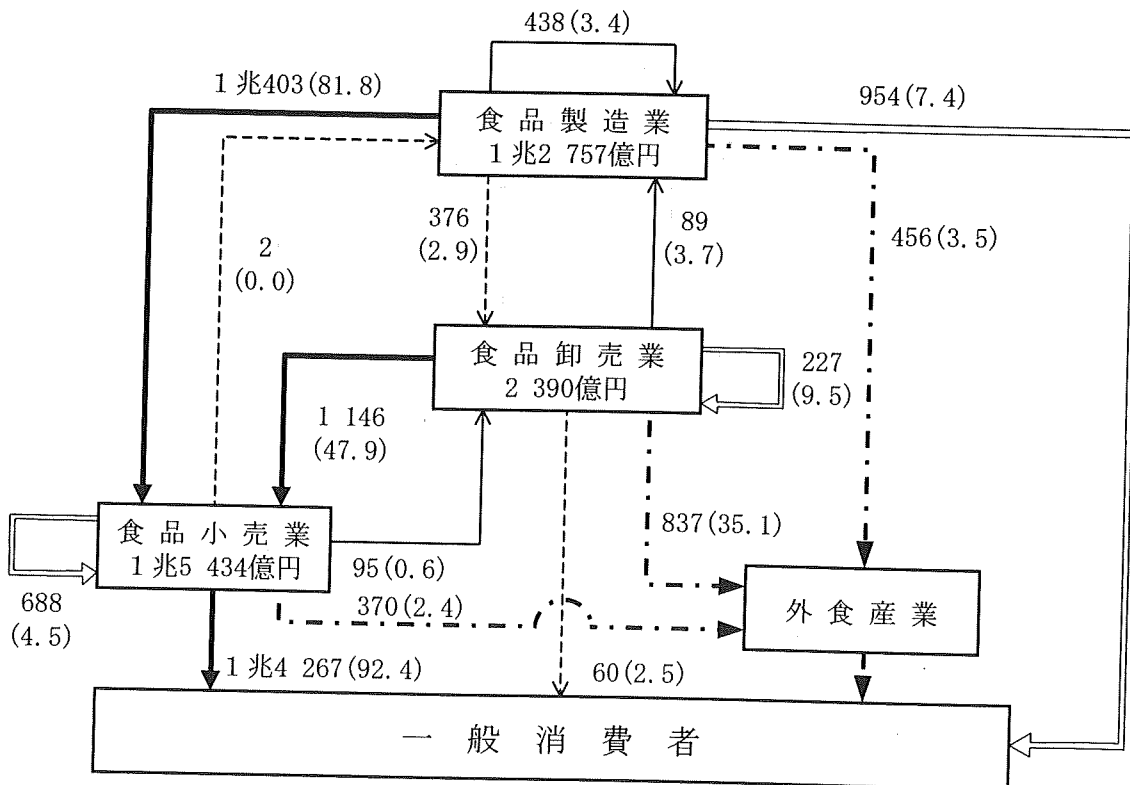


図21 ③-2 食品製造業から食品小売業に直接販売される割合が高い食品  
(惣菜・弁当等の調理食品)

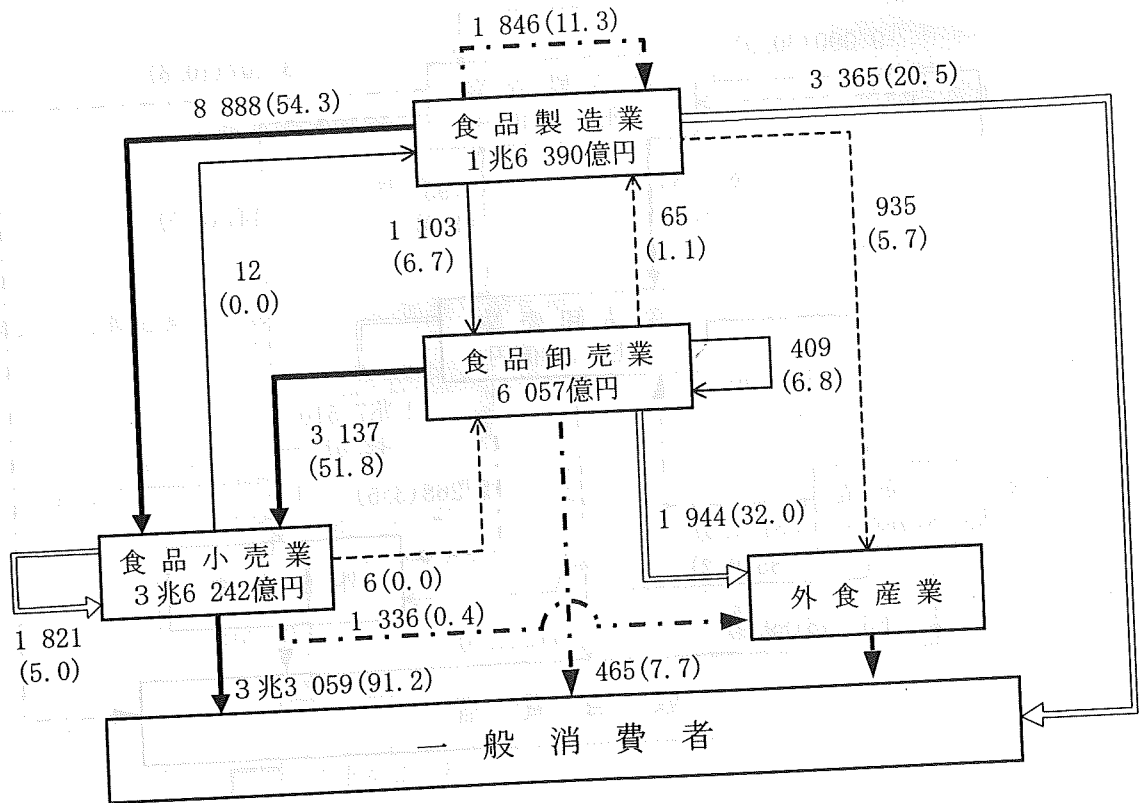


図22 ④食品卸売業から製造原料として食品製造業に販売される割合が高い食品 (糖類)

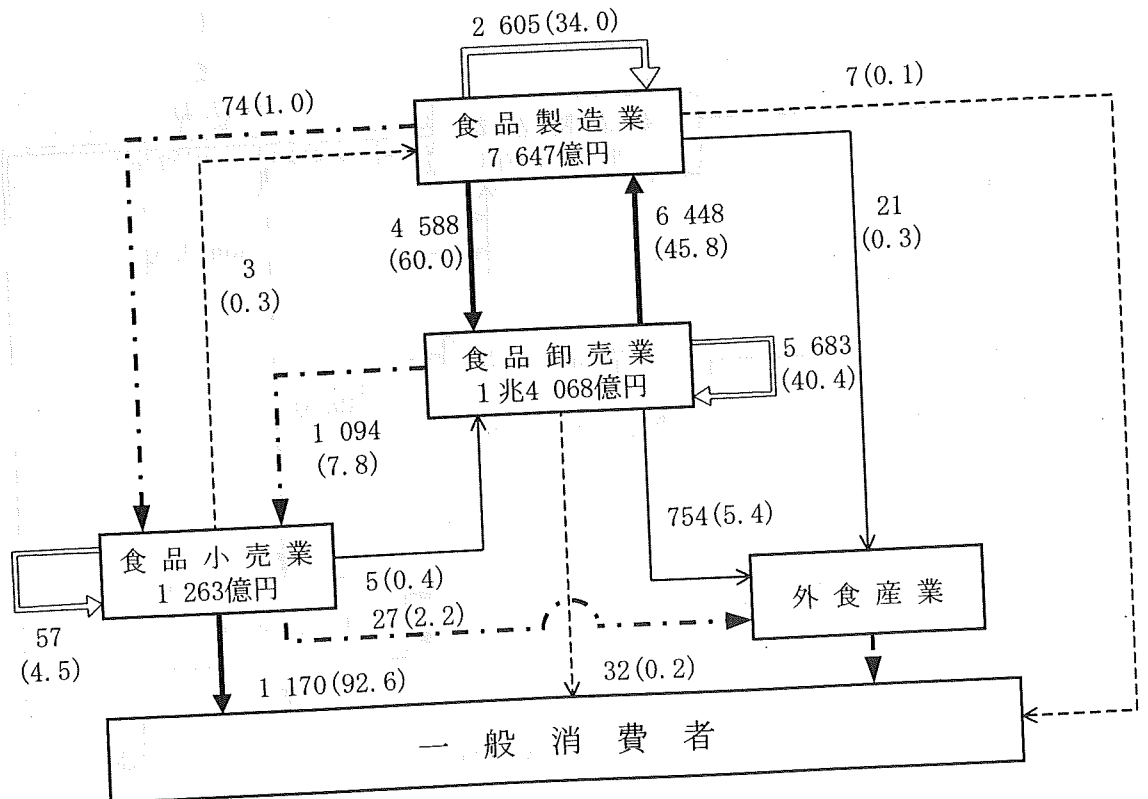


図23 ⑤-1 特定温度帯で流通されている食品（調理冷凍食品）

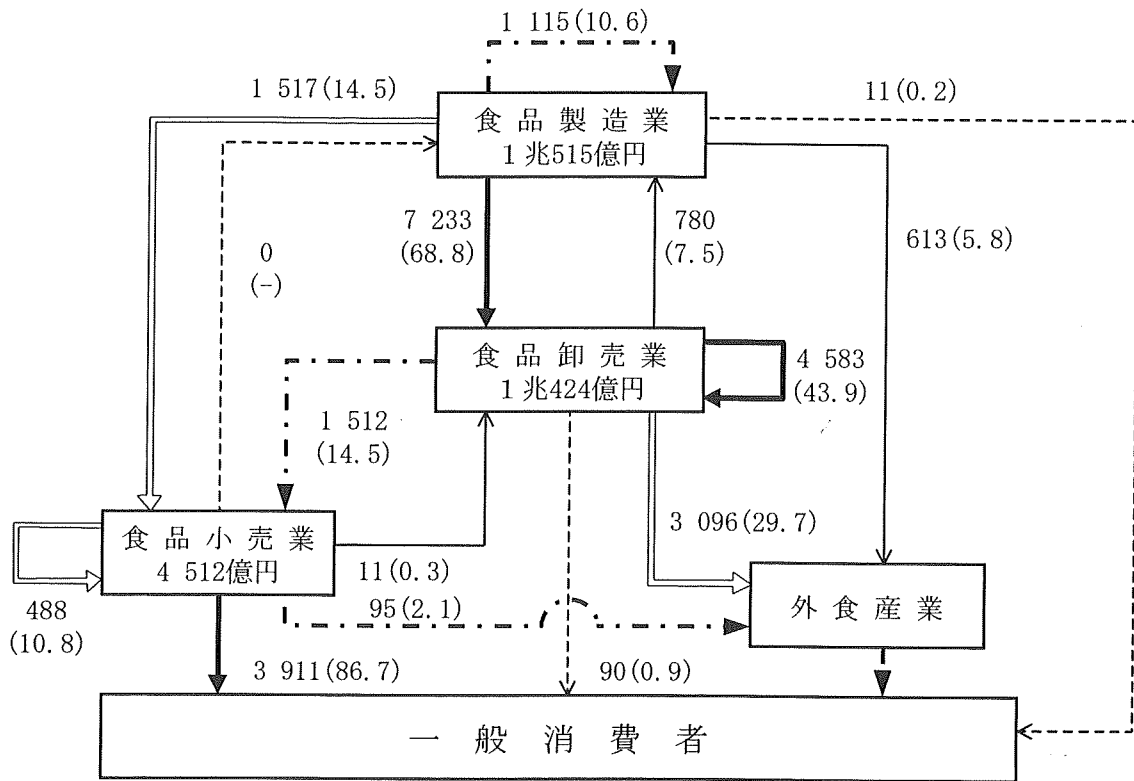


図24 ⑤-2 特定温度帯で流通されている食品（調理チルド食品）

